

座談会

「新天地に挑む人たち」

出席

畠野勝利氏（加茂川町・鳴滝農場・酪農）

岩本忠可氏（山陽町・酪農）

石橋光彦氏（神郷町・肉用牛）

今井真治氏（神郷町・養豚）

(司会) 栗山光春 (畜産会事務局次長)

出身はどちらですか

栗山・・本日は「新天地に挑む人々」ということで皆さんにお集り願いました。

皆さん、大学卒業後、方向は違いますが、全く一から畜産に取り組まれています。この新天地に挑まれた動機なり、体験談、苦労話を披露していただきたいと思います。

それでは、まず皆さんの自己紹介からお願いします。

畠野・・年令は四〇才です。東京農工大の農学部を昭和三八年卒業し、現在四人の仲間でやっています。全員、農工大の出身です。四家族の共同経営で、私は妻と子供が四人います。本籍地は東京です。以前は三瓶山に入植していました。その半数がここに来ているわけです。

岩本・・年令は三六才。岡山大学農学部

どんなことか動機に

栗山・・自己紹介が終ったところで、次に動機についてお話し願います。畠野さんから、三瓶山の辺りからお話し下さい。畠野・・大学を出て？ 色々理由はあります。百姓をやりたいということが第一だつたと思います。当初、八人で始め、別れた時は七人でしたが、それぞれ多少ニュアンスは違うと思います。サラリーマンになつてもつまらないとか、自分の

手で理論を実践でためしたいとか、誘われたからとか、動機について色々理由付けは出来ますがみんな後を継ぐ基盤を持つていいなかつたものですから、それなら開拓をやろうということで、三瓶山に八人で入つたわけです。

一人がすぐ脱落しまして、三瓶でやつていく中で、あの地帯が国立公園の指定を受けたりして基盤拡大がむずかしくな

農業経営学科を、昭和三九年卒業しました。家族は私と家内と子供三人です。

本籍地は山陽町です。入植したのは昭和四六年で、昭和四四年頃より育成を手がけていました。

石橋・・年令は二五才です。出身大学は倉敷市玉島です。昭和四六年三月に入植し、牛を実際に飼い始めたのは、昭和四七年からです。

今井・・年令は一九才です。岡山大学農学部畜産学科の出身です。家族は、妻と子供一人で、本籍地は岡山市です。昭和四五年に土地を獲得し、昭和四八年の秋に豚を入れました。

目次

座談会

新天地に挑む人たち

畠野勝利・岩本忠可

石橋光彦・今井真治

栗山光春

五三年度畜産施策その二

岡山県畜産課

嫌と好と畜産の発展

岡山林三郎

肉牛肥育のとりまとめ

小沢清一郎

大阪市場の岡山県産肉豚

電卓利用の飼料計算

高田裕史

デリーバークとアドワの統合

松田忠博

乳牛の夏バテ対策

益田だより

益栽だより

盆風人…20

栗山・・これまで生活基盤を整いかけていた時に、山陽住宅団地の話しが持つたわけですね。

岩本・・もちろんそうでしょうね。

栗山・・それでは次に石橋さんお願ひします。

畠野・・一度買いついていましたが、一応買いついていましたが、一応買いついています。

栗山・・現在、鳴滝農場では、用地はすくなく土地を買つ際には、知人が多くいる方がいいですから。岡山の加茂川町を川町の出身で、様子を見てこよどりになりますが、農場の代表理事の藤本氏が加茂川町で現石伊町長さんと会い、町長さんとの力添えもありまして、来たわけです。

栗山・・栗山のほうはどうでした。

畠野・・ええ、今年造成した土地以外は買いついています。

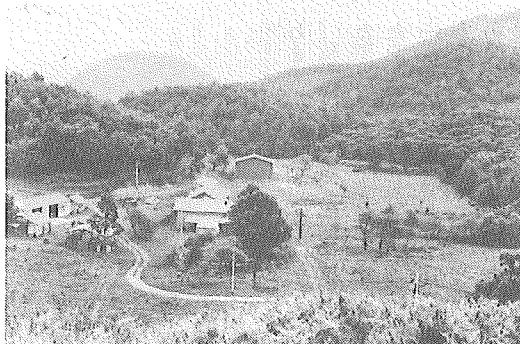
栗山・・一応買いついていましたが、一応買いついていましたが、一応買いついています。

畠野・・一応買いついていましたが、一応買いついていましたが、一応買いついています。

栗山・・始めて一〇年ぐらいですね。三瓶を離れるのは残念だったでしょうね。



氏 橋 石



石橋牧場

又借金もありますので、やはりそのぐらいいの水揚げがないとやって行けません。要望事項ですが、補助事業で導入した機械を圧縮記帳でゆくと、更新の時に減価償却費の積み立てが、圧縮分しかないの理論的には更新が不可能になります。栗山・・機械の更新の件ですが、畜産近代化リース協会というのがあり、例えば個人ではバルクですか、公社的性格のところには草地管理用機械の貸しつけ制度があり、畜産公社とか公社育成牧場のようなどころでは草地管理用機械の貸しつけ制度があるわけです。個人でも、畠野さんのようなところでは借りられるよう、県でも要望されていますので、こ^一二年内には借りれるようになる

放牧をしていると、体ができた割に体重が軽かっただけで、市場に出す前の二ヶ月は舍飼いをしています。しかし二ヶ月でも短いよう、三ヶ月は必要だと思います。しかしあまり長く置いていても、経済的に不利ですし、いろいろ問題が多いようです。試験場などで組立て試験をしてもらえるのはいいのですが、その間の資金をどのようにつないで行くかもついでにやってもらいたいですね。

初めは酪農をやりたかったのですが、ご存知のように道が悪かったものですから。それと神郷町で肉用牛が主で、酪農は付属という感じで、特に神郷町は酪振に指定されています。それで、結局和牛におちつきました。

栗山・・今井さんお願いします。今井・・当時は妊娠豚を二つ入れて始めました。次年に親を一頭ぐらいまでにして、現在親豚が二頭、育成豚が七頭子豚と肉豚を合わせて一四〇程です。目標は繁殖豚二〇頭の一貫経営が目標です。栗山・・豚の販売方法はどういう方法でやっておられるのですか。

今井・・昨年までは経済運を通してやっていたのですが、今年は経済運に出た重が軽かっただけで、手取りは自分で岡山を持って行ったりで、手取りは自分で岡山を持った方がいいですか、無利子のぶんを一〇〇万借りまして、それで始めました。今年近代化を二〇〇万借り、それで豚舎を少しよくしました。最初バラックだったんですが、今度は外側の鉄骨だけ業者にしてもらって、内部は自分でブロックを積んでやりました。

栗山・・資金はどうされたんですか。今井・・最初は改良資金の後継資金ですか、無利子のぶんを一〇〇万借りまして、それで始めました。今年近代化を二〇〇万借り、それで豚舎を少しよくしました。最初バラックだったんですが、今度は外側の鉄骨だけ業者にしてもらって、内部は自分でブロックを積んでやりました。



氏 井 石

今井・・昨年までは経済運を通してやっていたのですが、今年は経済運に出た重が軽かっただけで、手取りは自分で岡山を持って行ったりで、手取りは自分で岡山を持った方がいいですか、無利子のぶんを一〇〇万借りまして、それで始めました。今年近代化を二〇〇万借り、それで豚舎を少しよくしました。最初バラックだったんですが、今度は外側の鉄骨だけ業者にしてもらって、内部は自分でブロックを積んでやりました。

栗山・・それでは最後に今まで感じられた事を、総まとめに話していただければと思います。
栗山・・新天地に挑んだ感想と反省と申しますと、やはり動機とも関連しますが、これからも土地を購入していくので、栗山・・今井さんの場合、面積が足りないから養豚をされているようですが、拡張は開けるでしょうね。それと私達は四人の仲間がありますから、その点では皆さんより楽だったんでしょうね。ただ、まだ実践的に未完成な技術、機械の導入をした失敗はありますね。機械化と言えば、自分の能力と土地条件にあってやらなければいけないです。土地条件

新天地に挑んで

と思います。リースの場合は税法上は利益ではなく、損金でやれるはずですから。畠野・・もっと大きな要望事項は、畜産指導の中で、総合的な指導が充分できているのか、あるいは難しいわけですが、経営全体からみて、お宅はこれが問題ですよ、という適確な指導ができる指導者が欲しいですね。

それと現在の特殊事情で、円高の問題なんかもあって、現在ではハイキューを使つた方が、草を作るよりも経済性のいい飼料作物をどうやって土地条件に適応させ栽培するのかという指導がないのです。草を作つていれば儲かるという指導が一律にされているわけですが、そのためには非畜産農家の方に協力していかないと、実際には困難なのですが、現在水田利用再編の技術の指導はできても経営の指導といふのは難しいわけですが、経営全体からみて、お宅はこれが問題ですよ、といふ適確な指導ができる指導者が欲しいですね。

栗山・・貴重なご意見で、われわれ技術者も大いに頑張らねばなりません。では岩本さん、お願いします。
岩本・・私の場合、果樹地帯であることを、まだ二~三年はかかると思います。そのため、まだ二~三年はかかると思います。それから自給飼料の生産費というものが、人によって、また条件によって異なるわけですが、その生産費と流通価格とを常に検討し、作つた方がよいか作らない方がよいかを決定するわけでしょうが、土地を一度荒してしまつと取り返しがつかないわけで、常に両面作戦を取る必要があると思います。

栗山・・自給飼料を軽視するわけではありませんが、今の段階で算盤勘定をする必要とする金だけは、ハイキューに頼つても乳を搾つて行くというふうにあります。元来、私達は農業が好きで始めた人間ですから、土地から生産してやっていると思います。例えば小麦にしていたんですよ。ただ、一貫して草を作つていれば儲るんだという指導は、まちがつた人種のようと思われて、奇異の目に見られたこともあります。また方法が特殊な方法だったため、余計にそいつたかも知れません。事実、畜産関係者の方からも、種々の辛竦な意見もあつた、また励まされもしたわけです。まだやや始めて八年間で、完成までには程遠いということがわかつたわけで、一生かけてやって行くものだと思ってお

いたいです。ただ、一貫して草を作つていれば儲るんだという指導は、まちがつた人種のようと思われて、奇異の目に見られたこともあります。また方法が特殊な方法だったため、余計にそいつたかも知れません。事実、畜産関係者の方からも、種々の辛竦な意見もあつた、また励まされもしたわけです。まだやや始めて八年間で、完成までには程遠いということがわかつたわけで、一生かけてやって行くものだと思ってお

主張

嫌と好と畜産の発展

岡山家畜保健衛生所

松田忠博

我が國の畜産は、経済の高度成長に合わせ、多頭化・大型化の道をひたすら歩みつづけて来た。そこには、食糧生産の基本である安全性の問題も飼料自給の問題も、更には排出されるであろうふん尿の問題も重視されず、多頭化による経済性の追求が重点になされたのであるまい。

樹立した。町当局の努力の結果、隣地や附近住民の了解を取りつけ、いざ着工の段階で苦情の申し出があり、あらゆる努力も空しく事業変更の止むなきに至ったことがある。

その苦情の内容を見ておどろいた。「サイロや尿溜を造る計画を進めるため、サイロや尿溜を造る計画を用するなら反対だ」との理由である。まさに論理なき嫌物権、嫌人権の行使である。人間は一人では生きていけない動物

現代に於ける王張の時代といふよ——しかもそれは義務を伴わないものとして……最近、新聞等で話題となつた嫌煙権もその感がしてならない。元来煙草とは人々に安堵感を与える、更には思考をめぐらすための一手段として、先人達が考え出したすばらしい嗜好品ではないだらうか。愛煙家にも許容される好煙権がある。それが今更という感がするのである。煙草が問題になればつい合い上ねらい打ちきられるのが酒である。果せるかな六月十九日の読売新聞をみると嫌酒権について論じている。もとより、自己中心的な好煙権や好酒権の主張は論外として心の安らぎを高い税金を払いながら煙草や酒に求める権利もあるう。勿論、ルール、マナー等、人として守るべきことが口に申すまでもないが、要は嫌と好の接点（許容限度）をいすこに求めるかが問題であり、ただいたゞからに権利を主張することは如何なものであらうか。さもなければ、又ぞろ出てきそな気がしてならない。嫌大権、嫌物権、嫌女権、嫌人権等々。

パトロール員、家畜保健衛生所職員が巡回して衛生検査等を実施する。

ク 家畜飼養衛生環境改善緊急対策特業
別事業

多頭羽飼育農家を対象として、飼養衛生環境を改善するための調査等を行う。

ケ 要指小医薬品適正使用特別対策事業

抗生素質、血清等の適正使用を図るために、販売業者、獣医師等の指導を行う。

予算額 三五、六〇四千円。

(三) 自衛防疫推進事業

自衛防疫組織の強化育成を図るため、出資金の増額を図ると共に、自衛防疫推進事業、特別疾疫自衛防疫推進事業及び異常乳発生防止指導事業等を実施する。

予算額 三三、七〇八千円。

生産障害要因の調査、疾病的発生予防措置等の指導を行う。

工 空胎防除特別指導事業

繁殖障害の的確な治療方法の指導を行ふ。

才 家畜防疫情報システム化事業

モニタ十農家を通じて、継続的に家畜衛生情報を収集する。

立 事業

ニワトリ・又カガの発生消長、鶏の血液検査等を行ない、本病の効果的な防疫対策の推進を図る。

キ 無認知地域バトロール事業

生産障害要因の調査、疾病の発生予防措置等の指導を行う。

七、環境保全整備について

御津町など、九か所で、小規模の処理利用施設を整備する。予算額 一五、七五六千円。

<p>巡回して衛生検査等を実施する。</p> <p>ク 家畜飼養衛生環境改善緊急対策特別事業</p> <p>多頭羽飼育農家を対象として、飼養衛生環境を改善するための調査等を行う。</p> <p>ケ 要指導医薬品適正使用特別対策事業</p> <p>抗生素質、血清等の適正使用を図るため、販売業者、獣医師等の指導を行つ。</p> <p>予算額 三五、六〇四千円。</p>	<p>パトロール員、家畜保健衛生所職員が巡回して衛生検査等を実施する。</p> <p>ク 家畜飼養衛生環境改善緊急対策特別事業</p> <p>多頭羽飼育農家を対象として、飼養衛生環境を改善するための調査等を行う。</p> <p>ケ 要指導医薬品適正使用特別対策事業</p> <p>抗生素質、血清等の適正使用を図るため、販売業者、獣医師等の指導を行つ。</p> <p>予算額 三五、六〇四千円。</p>
<p>(二) 県営畜産経営環境整備事業</p> <p>笠岡市で昭和五〇年度から実施しており、本年は、基盤整備を三か所、糞尿処理施設等の整備を六か所で実施する。予算額 一五三、八一八千円。</p>	<p>(二) 県営畜産経営環境整備事業</p> <p>笠岡市で昭和五〇年度から実施しており、本年は、基盤整備を三か所、糞尿処理施設等の整備を六か所で実施する。予算額 一五三、八一八千円。</p>
<p>(三) 団体営畜産経営環境整備事業</p> <p>落合町において、主として養豚経営の集団移転を行うため用地造成、道路、糞尿処理施設の整備を行う。予算額 九二九千円。</p>	<p>(三) 団体営畜産経営環境整備事業</p> <p>落合町において、主として養豚経営の集団移転を行うため用地造成、道路、糞尿処理施設の整備を行う。予算額 九二九千円。</p>
<p>(四) 畜産経営環境保全事業</p> <p>環境保全調査及び施設改善等の助言、指導を行うと共に、加茂町など四か所で処理施設の整備を行う。予算額 四九、〇四一千円。</p>	<p>(四) 畜産経営環境保全事業</p> <p>環境保全調査及び施設改善等の助言、指導を行うと共に、加茂町など四か所で処理施設の整備を行う。予算額 四九、〇四一千円。</p>
<p>(五) 家畜ふん尿処理システム化施設設置事業</p>	

利用施設を整備する。予算額 一五、七五六千円。

(一) 奶牛の集中放牧成従事事業
補助金 一八、三四〇千円。

(二) 畜産經營環境整備事業の補完施設設置事業
補助金 四六、四九四千円。

(三) 飼料作物生産利用施設設置事業
補助金 一二〇、三四〇千円。

(四) 酪農教育推進事業
補助金 一二一、〇五九千円。

(五) 肉用牛繁殖育成センター等運営改善事業
補助金 八、九四二千円。

(六) 桜野牧場施設整備事業
補助金 四五、八〇〇千円。

(七) 原種豚供給センター設置事業
補助金 一四、一二二三千円。

(八) 液卵製造施設設置事業
補助金 四四、二九九千円。

(二) 乳用雌牛の集団放牧成促進事業
補助金 一八、三四〇千円。

(三) 畜産經營環境整備事業の補完施設設置事業
補助金 四六、四九四千円。

(四) 飼料作物生産利用施設設置事業
補助金 二〇、三四〇千円。

(五) 酪農教育推進事業
補助金 二一、〇五九千円。

(六) 肉用牛繁殖育成センター等運営改善事業
補助金 八、九四二千円。

(七) 桜野牧場施設整備事業
補助金 四五、八〇六千円。

(八) 原種豚供給センター設置事業
補助金 一四、二二二三千円。

(九) 液卵製造施設設置事業
補助金 四四、一六九千円。

といわれる。隣人、知人、友人、さらにはあらゆる人々が対話し理解し合い良き人間関係を造るならば、これら問題は解決するのではなかろうか。

△

近年どのデパートへ行つても自然食品コーナーを設け、野菜、小麦粉、鶏卵等数多くの食品を展示販売し人気を呼んでいる。その出する所は何であるうか。安全且つ純正な食品に対する証左であろう。

我国の畜産は、経済の高度成長を契機として、副業的畜産から多頭化畜産へ、專業的畜産から企業的畜産へと急速に発展して来た。その間、安全食品という言葉は、あまり使われず、生産第一、経済優先の感覚が先行したのではないかろうか。この間、もしも畜産物により、カネミ油症や水俣病の如き悲惨な事件が起きていたならばどうだったであろうか。當々として築かれた畜産に対する信頼は一挙に崩れ去つたであろう。思えば背筋の凍る思いがするのである。

近年に至りようやく「安全な動物蛋白の供給」が重要事項として取り上げられ飼料安全法の施行、薬事法に基づく指導書の発行等強い規制が打ち出されたのである。

およそ、如何なる職業にせよ、自らの行為が人類の幸に連がらなくて何の意義があらう。我々畜産人は、良心を以て、

新刊発行 和牛の手引

申込は、岡山県畜産会へ

これら法の精神を遵守し安全食品の供給を図ることが消費者に対する義務であり、又その行為が眞の畜産振興となるのではなかろうか。

十五・六年前になると思う。職場で肉牛の振興について討論したことがある。「頭数の増加は如何にすればよいか」とそれがテーマである。当時から肉用牛の飼養は零細であり二頭以下の規模が約90%を占めていた。答は簡単「現在の飼育者が一頭づつ増頭すれば良い」と主張したところ、出席者の大半から総スカンを食ってしまった。今後は経営の大型化を志向すべきであり時代逆行との理由。近年、国県は、肉用牛振興の一環として小規模農業成の方針を固め（福祉的意味もあるらしいが）その推進を図っているが、これこそ我国肉用牛振興の本来の姿はなかろうか。

私は思いをここにいたす時、本年三月開催された前日本獣医師会会長中村寛氏の講演を回想するのである。この催しには県内から約七十名の獣医師が参加したが、これ程感銘を受け、またこれほどまでに熱心な態度で終始した講演会に参加したのは始めてであった。

その後、同講演の冊子を購入拝読しているが、畜産の「ありよう」について同氏の意見を引用すれば次のとおりである。

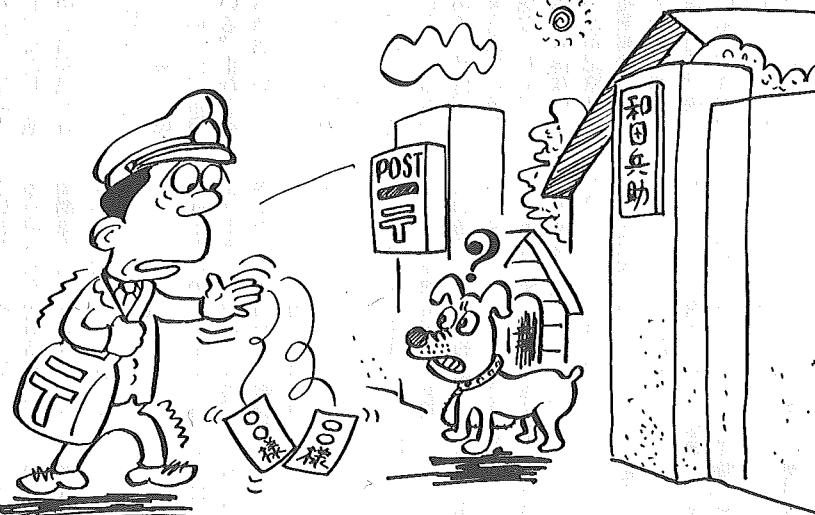
「多頭羽畜産の形態が果たして最善の畜

産のありかたであるかどうかについて深刻に検討しなければならない。現在の飼料事情から将来の日本の畜産を安定的に発展させるためにはどうすればよいのかといった基本的問題の解明についても、真剣に研究がなされるべきものと考える。

多頭羽畜産が食糧生産の発展から生まれた形態ではなく、經濟追求先行型であることは既に前に述べた。従ってここには食糧生産者として絶対的要件である安全性の問題も、生物循環の原理も経済至上主義のこの畜産の形態では馬の耳に念佛である。一中略

そして貴重な外貨で輸入した飼料をたかも自分の生産にかかる物であるかのように大型畜産家は大型へ大型へと移行する。そして国からは大型畜産育成のために多額の補助金が支出されるのである。そして小規模畜産は現在ではもはや影つすきものとなっている始末である。このため、地方の畜産指導者の間では漸く現在のような国の畜産指導方針を再検討しなければならないとする動きがでてきたのである。動物たん白自給への道は遠い。しかし、この道を大型畜産、大型水産にのみ求めている現状を是認する限りその安定供給はあり得ないと確信している。これは飼料の供給を何時までも他人（他国）にあおぐという身勝手さから考えても当然である。」

「世想？」 嫌 犬 権



現地レポート No.1 「ディリー・バーク」による ブドウ作農家との補完結合

主任 山田林二郎

はじめに

岡山市街地より国道2号線を車で東へ約二〇分走ると、日本の動脈山陽新幹線山陽本線 国道2号線が併行して走る左右の山肌一面に白いビニールの衣服を纏った様相を呈する一帯が、西日本唯一の露地ブドウの産地 岡山市上道農協管内を知地農等力培養対策モデル事業」の概要を紹介します。

事業導入の背景

事業導入の啓発

フロシート

古い歴史と伝統を誇るブドウ产地も、り変る農業情勢の変化の影響を受けて、有機質肥料の施用量の減少に伴う収量

公共投資による補助事業が地域に定着

事業内容

するためには、事前に地域住民のニーズを充分尊重し決められた基準の中で労作の原理に合ったシステム化が最も大切であるという原点に立って、農業相談員会議 地域の農業組織代表者 農協経済部委員会 受益地区代表者等々に事業導入の啓発を行なったわら、地域の立地条件にマッチした施設 機械の導入について積極的に助言を行ない、最終的には上道町農協理事会全員会議で機関決定を見た。

荷組合単位に説明会を行なとともに意見の交換を徹底して行ない事業導入の決定を見た。

事業名

主要畠地等等地力培養対策モデル

(1) 事業名

(2) 事業主

(3) 事業主

(4) 受益戸数と面積

果樹農家 一五三戸

畜産農家 二戸

果樹園 六三ha

(5) 事業量と事業費

施設・機械名	様式・能力	数量	事業費	口庫補助金	岡山市金	補助残
堆肥貯蔵施設	鉄骨スレート葺き	350 m ² 1棟	7,022	3,511	700	2,811
バーカ置物	"	150 m ² 1棟	3,135	1,567	310	1,258
ダンプ車	三菱キャンター2t	1台	1,400	700	140	560
ショベルローダー	小松 1,000 kg	1台	1,700	850	170	680
ポートレンチャー	川辺式 FXC330	1台	1,020	510	102	408
計		-	14,277	7,138	1,422	5,717

・去勢「中」以上適合率四七・七%です。

り平均値)

種類	項目	頭数	飼育日数	総壳上高	枝肉量	単価	1日当たり粗収入	預託料
黒・去勢(29戸)		128頭	450日	592,675円	376kg	1,631円	683円	307,121円
雑・去勢(8戸)		159	325	462,619	366	1,179	761	246,962

注 (1)黒・去勢は病畜 2 頭、雄・去勢は病畜 3 頭を含む成績、(2)総壳上高 = 枝肉代金 + 内臓代 + 皮足代 + 肉畜出荷獎

励金 (3) 1日当たり粗収入 = $\frac{\text{預託料}}{\text{総売上高}}$ (4) 預託料 = 総売上高 - 導入価格

表2 Y農協預託牛の格付け比率 (S.52.1~S.52.12出荷牛)

種類	項目	格付け割合	極上	上	中	普	規格外
黒・去勢		96%	2%	8%	41%	47%	2%
雑・去勢		35			2	93	5

注 (1)格付け割合は黒・去勢、128頭の内
123頭、雛・去勢 159頭の内56頭

多頭出荷者四戸の肥育成績は表三の通りです。これを見ると農家によって肥育成績に差があるのがわかります。黒の格付け比率はA1農家一〇頭の内九頭格付け極上一%，中二%，並五六%，規格外一%，B1農家一二頭の内二頭格付け、上一〇%，中三八%，並五二%です。両者の差は飼育日数で五五日、総売上高で三九、五四六円、枝肉量で一六kg、単価で七円、一日当たり粗收入で二九円、預託料で四八、一四七円とA1農家がB1農家よりすぐれています。

表3 肥育成績と粗収入の比較 (S52.4～S53.3出荷牛の1頭当たり平均値)

農家名	項目	頭数	飼育日数	総売上高	枝肉量	単価	1日当り粗収入	預託料
A1(黒・去勢)		10頭	448日	614,477円	379kg	1,566円	684円	305,951円
B1("・")		21	393	574,931	363	1,559	655	257,804
A2(雑・去勢)		21	298	446,492	364	1,253	822	244,893
B2("・")		22	278	450,010	353	1,180	750	208,598
C("・")		41	288	478,706	379	1,244	859	247,339
D("・")		19	301	414,114	318	1,091	621	187,006

注：(1) A₁とA₂, B₁とB₂は同一農家 (2) A₂は病畜1頭, B₂は病畜1頭, Dは病畜2頭を含む

大阪レポート

大阪市場における 岡山県産肉豚の実態

人阪市場における 岡山県産肉豚の実態

人阪市場における 岡山県産肉豚の実態

遷は図一の通りです。雄は五十年、五十年間の「過去五年間の一日頭当たり粗収益の変動」で、五十一後半から五十二年中に出た荷した肥育牛は黒、雑とも赤字であつたものと思われます。

七十三年度の牛肉安定価格はすえおきとなり、また輸入牛肉の競合もあって肥育農家は苦しい経営をしいられています。最近、日数をかけて肥育しても「上」物以上になる保証はないことから早めに出荷するため、牛肉の品質が低下する傾向にあります。上質肉は比較的の値下りが少ないので生産コストを下げ、肉質のよいものを出荷すれば活路はあります。今こそ綿密な管理技術と経営努力が要求される時期でしょう。

第1表 大阪府内出荷府県別と率頭数

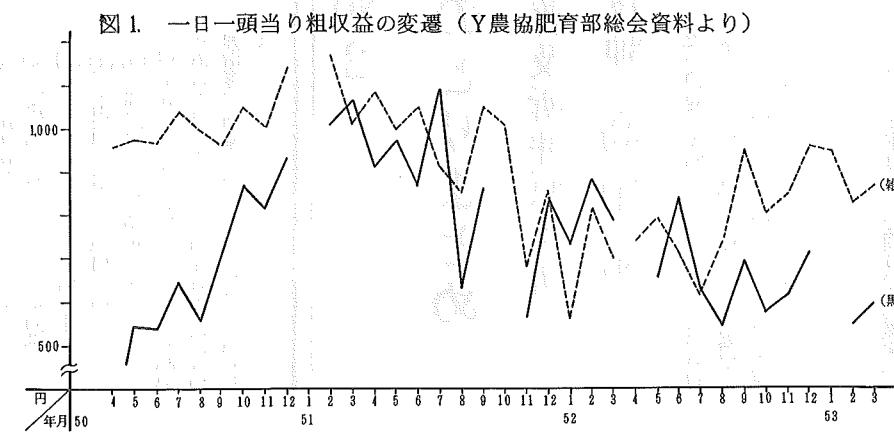
年別	府県別	大阪府	愛媛県	兵庫県	岡山県	その他	計
49	頭数	151,000	141,000	95,000	44,000	143,000	574,000
	百分率	26.3	24.6	16.5	7.8	24.8	100
50	頭数	149,000	115,000	79,000	52,000	125,000	520,000
	百分率	28.7	22.2	15.3	10.0	23.8	100
51	頭数	146,000	115,000	68,000	56,000	128,000	513,000
	百分率	28.5	22.5	13.3	10.8	25.0	100
52	頭数	150,000	132,000	75,000	59,000	143,000	559,000
	百分率	26.7	23.6	13.4	10.6	25.7	100

注 岡山県産のはとんどは大阪中央卸売市場の荷受会社へ入荷しており、上場されるものの(荷受会社扱分)の約3割を占めている。

第2表 大阪市場における主要府県別豚枝肉格付成績

府県	規格	極上	上	上物率	中	並	等外	計
岡山県	547頭	24,445頭	52.1%	15,291頭	5,553頭	2,114頭	47,950頭	
兵庫県	68	13,687	38.5	12,567	6,506	2,866	35,694	
和歌山県	55	8,507	45.8	6,207	2,719	1,209	18,697	
大阪府	4	4,623	30.8	5,564	3,099	1,739	15,029	
徳島県	198	4,101	55.3	2,129	837	511	7,779	
奈良県	12	3,072	41.5	2,507	1,359	474	7,424	
京都府	19	3,062	48.2	2,160	868	287	6,396	
香川県	23	2,694	47.3	1,841	851	334	5,743	
三重県	13	2,061	36.9	1,978	1,137	439	5,628	
愛媛県	21	2,856	51.9	1,764	629	272	5,542	

注 大阪市場に上場され規格取られる豚枝肉は、岡山県が最も多く、岡山、兵庫の2県で市場のほぼ半数を占めている。



四、岡山県産豚の出荷別枝肉格付成績

五、枝肉重量と卸売価格の関係

規格「上」の豚枝肉の重量と卸売価格を岡山県内の代表銘柄であります美星町、

湯野、奈義町の三農協について、品質の最も優秀な奈義町産のものは重量の大きくなるほど価格も高くなる傾向があります。美星町、湯野の二農協については六kg以上は変化がみられませんが、市況の悪化しました昨秋以後は大きいものは

第4表 最近の上物出荷率

年	市 平 均	岡山 県 産 平均
48	48.9	56.2
49	51.8	58.6
50	55.5	64.7
51	56.5	55.7
52	44.6	53.8

優良図書一畜産会へ

第3表 出荷者別豚枝肉格付成績

年 格 付 出荷者	52年						
	極上	上	上物率	中	並	特外	計
美星町農協	148	7,592	58.0	4,033	1,116	448	13,337
湯野 "	105	3,931	66.2	1,641	340	77	6,094
奈義町 "	139	2,558	67.8	962	267	51	3,977
河合 "	36	686	69.6	262	44	10	1,038
賀陽町 "	—	388	40.0	374	176	31	969
北房町 "	—	4	15.3	4	2	3	13
備中町 "	—	51	58.6	24	10	2	87
阿新 "	—	47	34.6	61	25	3	136
高梁市 "	—	138	28.4	228	92	34	492
西大寺 "	—	136	46.4	108	40	9	293
高梁 "	—	81	46.6	60	28	5	174
作東町 "	2	428	53.5	272	88	14	804
落合町 "	—	18	62.1	8	3	—	29
津山市 "	21	1,387	53.0	890	254	104	2,656
吉野 "	7	385	41.6	331	151	68	942
熊山町 "	—	108	48.2	72	36	8	224
和気町 "	3	216	60.0	100	36	10	365
津山企業 養豚組合	18	782	37.0	780	422	160	2,162
農協等計	479	18,936	57.5	10,210	3,130	1,037	33,792
その他	4	1,841	32.4	2,068	1,180	606	5,699
合計	483	20,777	53.8	12,278	4,310	1,643	39,491

流通飼料依存型酪農経営の 計画・設計指標 1、100円
乳用去勢牛育母・育成経営の 計画・設計指標 1、500円
肉専用牛繁殖経営の 計画・設計指標 1、300円
乳用去勢牛肥育経営の 計画・設計指標 1、300円
肉専用牛肥育専門経営の 計画・設計指標 1、300円
養豚繁殖専門経営の 計画・設計指標 1、300円
養豚肥育専門経営の 計画・設計指標 1、300円
養豚一貫経営の 計画・設計指標(新) 1、500円
養鶏採卵専門経営の 計画・設計指標 1、600円
養鶏ブロイラー経営の 計画・設計指標(新) 1、300円
家畜畜せつ物の処理利用の 手引(新) 1、300円

電卓を利用した乳牛の 簡易な飼料要求量の計算

研究員 小沢清一郎

電子式卓上計算機の普及は、すさまじい勢いで小学生に至るまで使用され、ま

ところで、この電卓で実際に乳用牛の
詞料計算をしてみると、日本詞養標準の

養分要求量（I）を何度も参照しなければならず、案外に手間がかかるもので

$aX + b$ を求め、簡単な手間で、養分要求量を求める方法について考察してみた。

一、准時に要する養分

量(乳用成雌牛)

可消化粗蛋白質 (DCP・%)

$$\text{可消化養分總量 (TDN · kg)} \\ = 0.006 \times \text{體重(kg)} + 1$$

$$= 0.026 \times \text{体重(kg)} + 4.47$$

D Mを除いて 食量 10kg以上と
量 10kg以下とでは計算式が異なる。
T 飼料量 (D M)
DMについて、日本飼養標準には表
に記載がない。注として
記量 10kgの時
$$D \text{ M } (kg) = 0.024 \times \text{体重}(kg)$$

量 10kgの時 $= 0.027 \times \text{体重}(kg)$
" 110 " $= 0.034 \times \text{体重}(kg)$
" 120 " $= 0.037 \times \text{体重}(kg)$

(別表) 乳牛の栄養分要求量計算式取りまとめ表

区分(y)	泌乳牛	泌乳牛 (分娩後2~3ヶ月前)	乾乳牛 (分娩前2~3ヶ月)
DM(kg)	$0.02 \times \text{体重(kg)} + (0.4 + 15 \times \frac{\text{乳脂率}(\%)}{100}) \times \text{乳量(kg)} - 3$	左式+4.1	(a) (x) (b) 0.01 × 体重(kg) + 5.6
DCP(g) 乳量 20 kg 以下	0.4 × 体重 + (4.121 × 乳脂率 + 30.548) × 乳量 + 90	左式+220	
乳脂率 4 % 以上	0.4 × 体重 + (6 × 乳脂率 + 23) × 乳量 + 90	"	
乳量 20 kg 以上	0.4 × 体重 + 87.42 × 乳脂率 + (4.133 × 乳脂率 + 30.64) × (乳量 - 20) + 701	"	0.4 × 体重 + 310
乳脂率 4 % 以上	0.4 × 体重 + 120 × 乳脂率 + (6.02 × 乳脂率 + 23.07) × (乳量 - 20) + 550	"	
TDN(kg)	0.006 × 体重 + (0.05 × 乳脂率 + 0.13) × 乳量 + 1	左式+2.2	
乳量 20 kg 以上	0.006 × 体重 + 乳脂率 + ((0.05 × 乳脂率 + 0.13) × (乳量 - 20) × 1.003 + 3.6)	左式+2.2	0.006 × 体重 + 3.2
DEM _{cat}	0.026 × 体重 + (0.221 × 乳脂率 + 0.575) × 乳量 + 4.47	左式+9.7	
乳量 20 kg 以上	0.026 × 体重 + 4.42 × 乳脂率 + (0.222 × 乳脂率 + 0.577) × (乳量 - 20) + 15.975	左式+9.7	0.026 × 体重 + 14.17

盆栽あれこれ

盆風人

夏の管理

一、水やり

松柏類 雜木類は一日一回たっぷり（鉢の底の穴からたれるまで）やる。
水を好む盆樹（サツキ類 梅モドキ、
真言、杉等）は一日二回やる。
小品（ミニ）盆栽は一日三回やる。

水やりの時間は一日一回のときは午前一〇時頃に、また二回のときは午后三時四時頃にやる。

二、太陽光線

サツキ類 ソロ、ブナ等は夏期の光線が強すぎる所以日陰か、屋根をして黒のカンレイシ等を張つておく。
杉雜木類等は西日を嫌うので午后二時頃には日陰となる場所に置く。

三、肥料

松柏類 梅、ピラカンサ、梅モドキ等は日中光線のあるところに置く。
この時期の肥料の目的は盆樹を太らせるためである。

盆樹の太る時期は八月下旬から十一月上旬と言っている。
肥料の与える量は春期よりやや多めにやる。

モミジ、カエデ等は春にてた葉を刈りとつて新しい葉を出させて眺める。
◎葉刈りの方法



葉柄を三分の一位残して鋏で切りとる。時期は県南で七月下旬から八月上旬、県北で七月中旬頃に刈りると葉柄の元から新芽がでて新葉ができる。葉刈りは一回に全部刈りとらずに一週間位して残りを刈りとる方法が安全である。

五、消毒

スミチオンの八〇〇～一、〇〇〇倍液を毎月一回行う。

六、さし木

椿、サザンカ等は土用から八月中旬にさし木を行う。リンゴウは七月月中旬にさし木をする。

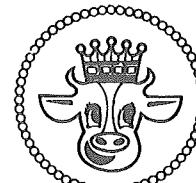
乳は国産工サは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産すすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協／
全国酪農業協同組合連合会

近代農業化のための建築を

(株)石津建築設計事務所

岡山市天瀬南町3-9 TEL 22-7023

定価	印刷所	発行所	岡山畜産便り（七月号）	第二九卷 第六号	昭和五十三年七月二十五日
一部一八〇円	ふじや	電話・岡山市丸の内二一一一 振替・岡山八五七五番	編集人 石井敏雄治 岡山市磨屋町九一八	（通巻第一百九十八号）	岡山県農業会館内

謹んで暑中お見舞申し上げます。
本年は梅雨明けも早く、この暑さも既に一ヶ月を経過し、人、家畜ともどもに試験の前に立たされているこの頃です。
とり分け、物いわぬ牛、豚、鶏には細心の注意を払って、何とかこの暑さを乗り越えて貰いたいものです。
ところで本号には、学士の方々に新天地へ挑戦された苦心談を語って戴きましたが、それぞれの目標をはっきりもれち密な計画のもとに一路邁進されている姿が浮き彫りにされ、後に続く若者たちを勇気づけられた貴重なものとなりました。又、大阪や各地のレポート、さらに主張、新技術など賑やかな記事になつたことを感謝いたします。

編集後記

どんなフォーレージでもOK。
高中低水分サイレージから乾草まで。

移動する飼料調製機

α フォーレージスタッカー

機能とご活用法

- ①あらゆるフォーレージを調製できます。
- ②どこへでも移動します。
- ③放牧期間を延長できます。
- ④大型システムのロスをおぎなえます。
- ⑤稲わら堆肥もかんたんにできます。
- ⑥農協から借りることもできます。



圃場切断 → スタック作業 → 給与

を整理するフォーレージスタック・システム

長瀬産業(株)機械部指定
大阪アルファサービス株式会社

〒550 大阪市西区新町南通1丁目3番地 TEL (06) 541-0913

畜産の未来をひらく……
金子農機株式会社
●本社 / (〒348) 埼玉県羽生市西2丁目21-10 ☎ 0485(61)2111(代表)
●営業所 / 北海道(岩見沢)・秋田・東北(仙台)・新潟(長岡)
・大阪・岡山・九州(久留米・福岡)
●事務所 / 東京・札幌 ●分室 / 宮崎